

あがの 市議会だより

第38号

平成30年
9月定例会号
10月15日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会の活動報告	P3～4
市政を問う一般質問（14人）	P4～7
議会報告会での意見ほか	P8

体験型の
ウォーキングイベント
ウォーク&イートが
9月24日に開催されました

参加者は秋の一日、
五頭温泉郷の自然と食を
楽しんでいました。



9月定例会が 9月5日～21日の会期で開かれました

5日 本会議

- 一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目
(4人が質問)

6日 本会議

- 一般質問2日目
(6人が質問)

7日 本会議

- 一般質問3日目
(4人が質問)

11～13日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案を審査

14・18・19日 決算審査特別委員会

- 平成29年度各会計決算を審査

21日 本会議

- 決算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決

※議決結果は2ページ

議会構成が変わりました 9月定例会最終日に議長、副議長を新たに選出

就任あいさつ



議長 風間 輝榮



副議長 村上 清彦

市民の皆さまには、日ごろより阿賀野市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、9月定例会最終日におきまして、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

少子高齢化と人口減少がより一層本格化する中、将来を見据え、中長期的にやるべきことを明確にし、行政サービスを維持できるように市の財政基盤の確立が大変重要となっております。

私ども議会は、市民の皆さまが住み慣れたこの地域で安心して生活ができるように、多様なニーズを反映させ、皆で知恵を出し合い、課題について真剣に議論し政策立案につなげていく役割が一層求められております。そのためにも議会の一体感の醸成を図り、公平公正に信義に満ちた議会運営に努め、開かれた議会を目指し、市民の皆さまの期待と信頼に応えられるよう、議決機関としての役割を果たすべく力を尽くしてまいります。

今後とも市民の皆さまをはじめ、関係各位のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆委員会構成も一部変更

◎委員長 ○副委員長 (■は変更のあった委員)

議会運営委員会	
◎遠藤 智子	○横井 基至 山口 功位
高橋 幸信	宮脇 雅夫 近山 修
総務文教常任委員会	
◎山口 功位	○天野美三男 山崎 正春
高橋 幸信	倉島 良司 山賀 清一 清野 栄一
社会厚生常任委員会	
◎中島 正昭	○遠藤 智子 石川 恒夫
宮脇 雅夫	江口 卓王 村上 清彦
産業建設常任委員会	
◎浅間 信一	○横井 基至 稲毛 明
市川 英敏	近山 修
議会改革推進特別委員会	
◎石川 恒夫	○天野美三男

委員長の変更のほか各部会長、部員も一部変更がありました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

平成29年度 決算審査

一般会計ほか10会計決算を認定

平成29年度一般会計ほか10会計の歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成される決算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも全会一致で認定されました。

【平成29年度各会計の決算状況】

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	225億2,898万円	213億2,829万円
国民健康保険特別会計	50億3,712万円	49億6,924万円
後期高齢者医療特別会計	8億774万円	8億20万円
介護保険特別会計	51億176万円	48億1,115万円
公共下水道事業特別会計	26億5,634万円	26億3,748万円
集落排水事業特別会計	2億7,142万円	2億6,874万円
押切外四ヶ大字財産区特別会計	702万円	469万円
少年自然の家特別会計	3,317万円	3,193万円
工業団地造成事業特別会計	1億2,364万円	1億2,364万円

水道事業会計	収益的収入	13億4,713万円	収益的支出	11億8,924万円
	資本的収入	3億2,893万円	資本的支出	9億56万円
病院事業会計	収益的収入	7億2,903万円	収益的支出	11億3,404万円
	資本的収入	2億7,191万円	資本的支出	4億9,935万円

議案を可決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。今回審議した中から2つの議案の内容をお知らせします。

一般会計補正予算(第3号)

主要内容 高齢者生きがい活動促進事業費補助金 100万円

高齢者の居場所の拠点整備モデル事業(国の事業)として安田地区に整備する施設を運営するボランティア団体に対して、初期費用に対する補助金を交付します。

問 詳しい内容と安田地区の複合施設もできあがる予定だが、その辺も踏まえて説明してほしい。

答 安田地区の旧あゆみデイサービスセンターの建物を改修し、高齢者の居場所の拠点として整備する。補助金は空調等設備費やパソコン等の備品購入費に充てられる。複合施設は通年で借りるわけにいかず、旧あゆみデイサービスセンターを借り受けることになった。

安田、水原、京ヶ瀬、笹神の各地区に誰もが集える拠点となる居場所をつくることを目指しています。安田地区の居場所は11月頃からの開始予定です。

財産の取得について

主要内容 防災行政無線戸別受信機

211台を購入 32,185,771円

市内の土砂災害警戒区域内にある人家等に貸与するため取得します。

問 どの地域に設置されるのか。

答 安田地区の小松・草水・丸山・ツベタ・福永、笹神地区の大日・村杉・今板・出湯・畑江・勝屋の土砂災害警戒区域内に設置される。

9月定例会の議決結果をお知らせします

全会一致で議決した議案等

議案名	審査した委員会※	議決結果
一般会計補正予算(第3号)	総文・社厚・産建	可決
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決
介護保険特別会計補正予算(第1号)	社厚	可決
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	産建	可決
集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	産建	可決
市営バスの運行及び管理に関する条例の一部改正について	総文	可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総文	可決
通学バス運行及び管理に関する条例の一部改正について	総文	可決
安田交流センターの設置に関する条例の制定について	総文	可決

議案名	審査した委員会※	議決結果
公告式条例の一部改正について	総文	可決
公民館条例の一部改正について	社厚	可決
市立図書館条例の一部改正について	社厚	可決
保健センター条例の一部改正について	社厚	可決
新市建設計画の変更について	総文	可決
市道路線の変更について	産建	可決
市道路線の認定について	産建	可決
財産の取得について(除雪ドーザ)	産建	可決
財産の取得について(防災行政無線戸別受信機)	総文	可決
意見書 学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について	省略	可決

※総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 省略：本会議で即決したもの ◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧いただけます。

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(高橋幸信)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党				新政クラブ		阿賀野クラブ				ネオあがの		会派の所属なし				
			村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	山口功位	中島正昭	風間輝榮	市川英敏	天野美三男	遠藤智子	石川恒夫	山賀清一	清野栄一	横井基至
「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	総文	採択	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

【請願の要旨】私立高校は学費と教育条件において公立との格差が生じているため、私学助成の充実を求める意見書を関係機関に提出してほしい。

【お詫びと訂正】 前回第37号2ページの意見が分かれた議案等の中で、市川英敏議員の賛否の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
・阿賀野市国民健康保険税条例の一部改正について 【正】欠(欠席) 【誤】○

常任委員会の活動

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

土砂災害警戒区域に戸別受信機を整備 土砂災害対策について調査（7月11日）

土砂災害等想定区域の調査のため、笹神地区で3か所の現地視察を行いました。1か所目は大日地内集会所裏で、旧笹神村時代の土取り跡付近が地滑り危険区域の指定を受けているとのこと。2か所目は村杉地内の薬師堂付近、3か所目は今板農村公園付近で、いずれも土砂災害特別警戒区域・急傾斜地ということ。昭和42年、豪雨により大きな被害を受けた地区です。

笹神地区では土石流の警戒区域が46か所、急傾斜地が19か所、

安田地区では土石流の警戒区域が27か所、急傾斜地が2か所指定されており、市では今年度新たに、土砂災害警戒区域内にある人家等に防災行政無線の戸別受信機を約230台整備する予定とのことでした。

日頃から防災に対する意識を高め、状況に応じて危ないと思ったらとにかく逃げるのが大切であり、お互いに声を掛け合っただけで避難してほしいという話がありました。災害時には地域で助け合うことが不可欠なことから、自主防災組織の育

成も大変重要な課題であると感じました。



笹神地区大日集会所で説明を受ける委員

7月19日に先進地研修（富山県南砺市）を行いました 移住・定住の促進、婚活支援等の人口減少対策について

南砺市は世界遺産に登録された五箇山合掌造り集落を有する市です。人口減少に歯止めをかけるため、「南砺で暮らしません課」を設置し、市民協働のまちづくり、広報・広聴、移住・定住促進、婚活支援にワンストップで取り組んでいます。

婚活支援では、婚活倶楽部の会員数が496名、婚活応援団の会員数が127名であり、年間20回ほどのイベントを行っています。平成23年の開設以来市内在住の成婚カップルは105組で、「一組でも幸せな家庭を」という、行政と応援団の気持ち

がひとつになってここまでできた

というお話でした。移住・定住対策では、移住セミナーや体験ツアー、空き家バンク制度のほか、地域の空き家サポーターから空き家の掘り起こしをしてもらうなど、地域をあげて動いてもらっているそうです。また、転入奨励金や持家奨励金、3世代同居奨励金なども用意されています。

行政だけではできないことに限界があることから、今後は住民自ら考え主体的に活動する組織となるよう改革を進めていくそうです。市民と行政が協働で取り組むことで大きな力を発揮されている先進的な事例を視察し

てきました。



「南砺で暮らしません課」で移住・定住促進、婚活支援などワンストップで取り組んでいる

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

相談を受け自立に向けて支援 生活困窮者自立支援事業を調査（7月23日）

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため9つの事業を行っています。

- ※①②④の事業は、市社会福祉協議会へ委託し実施。
- ①自立相談支援事業：生活困窮者からの相談を受けニーズを把握し、支援が計画的、継続的に行われるよう自立支援計画を策定します。
- ②家計相談支援事業：相談者の状況に応じた支援計画の作成、家計再建に向けたきめ細かい相談支援を行います。
- ③住居確保給付金：離職により住宅を失った、失うおそれ

高い生活困窮者で所得が一定水準以下の者に、有期で住宅確保給付金を支給。

- ④就労準備支援事業：対人、社会適応能力等に問題を抱え、雇用による就業が著しく困難な生活困窮者に対し、一般就労に従事する前準備として基礎能力の形成を計画的に、一貫して支援を行います。
- ⑤子どもの学習支援事業：養育相談、学習支援といった「貧困の連鎖」の防止の取り組みや、家庭訪問相談員がさまざまな課題を抱える世帯に訪問し必要な支援を行います。

8月2日に先進地研修（滋賀県米原市）を行いました 伊吹山文化資料館の運営について

「伊吹山と山麓の自然と文化」をテーマにした体験型の総合資料館で、伊吹山に関する自然・考古・歴史・民俗などの資料、山麓に暮らしの人々が必要に応じて生み出した生活用品、伊吹山地の恵みを生活の糧にするために使われてきた生産用具を展示しています。

開館前に公民館講座「資料館づくり友の会」として募集した住民受講生の手によりでき上がった手作りの展示となっていて、展示作業等に携わった住民は延べ200人を超えます。開館後

は「伊吹山文化資料館友の会」となり、昔の暮らしや遊びなどの体験プログラムで講師として活躍しています。

現在は指定管理者が運営し、教育委員会と連携した歴史講座や体験教室を開催しています。新聞社などへの情報提供も積極的に、PRに努めています。この資料館は、「友の会」が施設運営の要となっており、地域の方々がボランティアで携わっています。体験プログラムでの子供たちとの触れ合いが生きがいにもなっているとのこと。当



平成10年3月開館。来館者数は年間約6千人。

市における資料館づくりに大変参考となる施設でした。

閉会中の継続調査事項（12月定例会まで）
災害時の対応について

閉会中の継続調査事項（12月定例会まで）
子育て支援センター「にこにこ」の運営状況について

産業建設
常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

阿賀野市産商品の販売に向けて

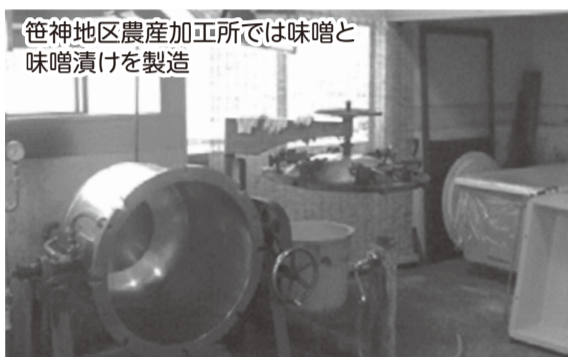
笹神地区農産加工所、京ヶ瀬地区農産物加工センターの状況を調査(7月18日)

【笹神地区農産加工所】

笹神地区農産加工所は、昭和63年に建設され、味噌と味噌漬けを製造しており、指定管理者はささかみ農業協同組合です。

施設利用者は、うめそば味噌加工利用組合で現在の組合員数は15人です。うめそば味噌の年間生産量は6500kg、品目販売額は282万円。販売内訳はJAささかみ、加工組合員による販売、即売所でした。施設利用者からは、施設

の老朽化対策が求められ、作業所内の大豆を煮る回転式蒸煮缶はパッキンが破損していました。味噌の消費量は1か月に2人で1kgというデータがあり、さらなる需要が見込まれますが、製造しても貯蔵する冷蔵庫が足りないため、現時点ではこれ以上増産は行えないとのことでした。また、後継者がおらず組合員数も減っていることも規模拡大の阻害要因となっています。



笹神地区農産加工所では味噌と味噌漬けを製造

【京ヶ瀬地区農産物加工センター】

京ヶ瀬地区農産物加工センターは、特産品創出のための加工体験学習施設として、平成12年に建設されました。

平成30年度からは使用貸借契約を北浦みなみ農業協同組合と結び、指定管理施設ではなくなりました。

施設の品目別生産量は、味噌1730kg、タケノコ缶詰524個、小豆缶詰84個、米粉加工829kg、餅・漬物の真空パック加工は719袋です。本加工センターは誰でも利用することから、製品としての食品加工の許可が保健所からおりず、全て自家消費でした。道の駅において、加工場

を併設し、販売できるようにしてもらいたいと要望がありました。市は現在、道の駅施設整備の検討を進めています。加工施設については含まれていません。仮に加工施設を市で建設し市民にリスクのない状態で提供したとしても、経営的に成果を得ることはできないと実体験に基づいた指摘もありました。また、6次産業化を含めた農業経営力向上への取り組み、後継者問題に対する次世代の就農者を育てる施策を行うべきとの意見が出されました。農業の6次産業化は農業関連収益の向上につながり、阿賀野市の農業を活性化さ



京ヶ瀬地区農産物加工センターでは味噌の製造、タケノコ缶詰加工、米粉加工、真空パック加工などを行っている

せるうえで農産物加工施設の在り方は重要です。今後も機会をとらえて調査を継続していきます。

一般質問



無会派
清野 栄一

小中学校のエアコン設置について

【質問】 今年猛暑が続き、政府からも学校のエアコン設置に言及があり、文科省も4月に学校衛生基準を見直した(教室の適温17度以上、28度以下)。これにより、各地でエアコン設置や設置に向けた動きがあり、当市でも児童の授業や健康を考慮するとエアコン設置は喫緊の課題である。そこで伺う。①7月の各学校の教室の温度②校長会等の意見③取り組み方針。
【答弁】 ①最高気温の平均は33.9度②設置を望んでいる③2、3年で整備の予定だが、一気も有り得る。



人口減少(社会減)について

【質問】 3月公表の平成29年県人口移動調査によると当市では1年間に569人の減少(自然減375人、社会減194人)で、県平均の0.86%を上回る1.33%の減少率である。特に社会を支える20〜44歳の人たちが差引き年間202人も減っている。国が今年見直した当市の将来人口は下振れしており、しっかりとした分析対応が必要。社会減対策の取り組み状況は。
【答弁】 住宅取得補助、移住ガイドや移住パンフによるPRなどに取り組んでいる。各地区の転入転出など再度分析していく。

熱中症予防の周知

【質問】 防災行政無線は一般行政事務にも使用できる。熱中症対策として防災行政無線による周知を行ったのか。農作業など屋外にいる人にもわかるよう放送すべき。
【答弁】 3回行った。
【質問】 3回は少ない、基準は何か。
【答弁】 適宜判断している。

選挙事務について

【質問】 昨年の衆議院選挙、今年の知事選と連続して事務のミスが発生したが、問題の本質と改善策は。担当だけでなく、管理監督責任もあると思う。しっかりと取り組んでほしい。
【答弁】 原因は職員の緊張感の欠如、改善策は事前研修やチェック強化。

憲法9条改定について

【質問】 安倍首相の9条に自衛隊を書き込む改憲案は、自衛隊を憲法上追認するだけではない。9条2項(戦力不保持・交戦権の否認)を残したとしても、自衛隊の存在が明記されれば、2項が死文化する。世界に誇る平和主義を定めた9条によって、逆に無制限の海外での武力行使が可能になる。市長の見解は。
【答弁】 戦後、日本の平和と繁栄を支えてきた憲法改正は、なぜ今なのか国民に丁寧に説明し、十分な理解が得られるまで国会で徹底した議論と審議を尽くすべきと思う。



日本共産党
宮脇 雅夫

学校教室にエアコン設置を

【質問】 小中学校のエアコン設置率は、普通教室で66%だが、命に危険を及ぼす猛暑が続いている中で、エアコン設置が喫緊の課題となっている。文科省は、教室の温度基準を「17度以上、28度以下」としているが、市の調査ではどうか。
エアコン設置が進んでいない原因は、国の予算が少なすぎる。国民の要求が押され、官房長官は、「設置ができていないところは早急に設置しなければならぬ、来年の夏には間に合わせたい」。文科科学大臣も「国庫補助が行きわたるように

したい」と述べている。昨年度末の市の財政調整基金は19億6千万円ある。この基金の一部を使ってでも来夏までに設置すべきだ。
【答弁】 計測した教室の最高気温の平均は33.9度。熱中症は報告がなかったが、7月中旬に具合が悪くて早退した小学生53人、中学生9人。
エアコン設置は、1年目は中学校、2年目は小学校の2か年計画で設置する考えだが、議員の賛同があれば、一気に設置できるように検討したい。全教室に設置した場合、総工事費5億1千万円、うち国の交付金1億3千6百万円、電気料ペー





阿賀野クラブ
風間 輝榮

ごみ処理にかかる年間処理費と課題

質問 ごみ処理に要する年間費用、市民1人当たりいくらか。
答弁 平成29年度は約4億7千7百万円。市民1人当たり約1万1千円。

質問 再生可能なびん・アルミ缶・プラスチック・新聞紙などの資源ごみの量と年間収入は。
答弁 平成29年度資源ごみの総収集量は2264tで、このうち、びん類約3万本、アルミ缶を含む金属類362t、古紙類964t、ペットボトル90tを売却し1811万1千円の収入があった。

質問 焼却施設の老朽化などに
答弁 「新施設は、可燃ごみの焼却施設と不燃ごみや資源ごみの破碎・選別を行うリサイクル施設で、両施設合わせて130億円（税別）と試算され、平成35年度中に供用開始される計画である。

よる年間修繕費は、過去5年間でいくらかかっているか。
答弁 環境センターの年間修繕費は、平成25～29年度合計で5億8千43万3千円。
質問 阿賀町・五泉市・阿賀野市で構成する五泉地域衛生施設組合で進めている「新焼却施設」は五泉市に、最終処分場は当市に決定しているが、どのくらいの予算でいつ完成する予定か。
答弁 「新施設は、可燃ごみの焼却施設と不燃ごみや資源ごみの破碎・選別を行うリサイクル施設で、両施設合わせて130億円（税別）と試算され、平成35年度中に供用開始される計画である。

万1千㎡で稼働年数15年を見込んでいる。事業費は33億7千万円（税別）と試算されている。
質問 当市のごみ処理の現状と課題は。
答弁 ごみの排出量は近年減少しているものの、1人当たりのごみ処理にかかる費用は増加している。安田地区でプラスチックと紙製容器包装類の分別が行われていないこともあり、リサイクル率は県の平均より低い。3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進によるごみの減量と資源化、より効率的な収集に取り組みたい。



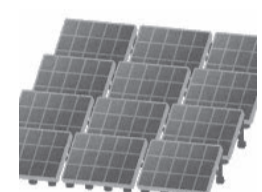
無会派
石川 恒夫

鳥屋ヶ峰区域での開発行為

質問 太陽光発電施設とのことだが、情報量が少ないことから当該開発行為に対し臆測や不安の声も聞かれる。これは、民間の契約行為に基づくものであり、許認可権は県にあると思われるが、所在自治体である当市に対しても、当然にして事前協議がなされたかと推測するところであり、その経過および事業計画の概要を伺う。

答弁 民間業者により平成26年3月、経済産業省の認定を得て、新潟県大規模開発行為の適正化対策要綱による協議を経て、平成29年12月事前協議了承・開発

許可されたもの。面積97・5ヘクタールに太陽電池パネル16万5千枚を設置する計画で、発電量は4万6千5百キロワット、一般家庭の年間電力消費量1万2千戸に相当する。
質問 防災対応、とりわけ水害対策が重要であるが、具体的な対応を伺う。
答弁 切土や盛土ののり面に植生マット等による流亡対策、沈砂池や4か所の調整池を設け河川へ放流する計画となっている。
質問 工事の竣工および稼働時期はいつか伺う。
答弁 平成33年完成、平成34年稼働の予定となっている。



障害福祉サービスの基準見直し

質問 日中活動系サービスにおける長期（連続）利用日数の上限設定と年間利用日数の指定基準の設定により、当事者間において不安や動揺が大きい。障害福祉の本旨から、柔軟かつ適切な対応が必要だが現状での対応を伺う。
答弁 利用計画の適否を審査し、国の示す事務処理要領に基づき支給決定している。障がいのある方が家族と安心して生活が送れるよう、引き続き相談支援専門員と連携し、正確な状況把握と適切なサービスの支給に努めたい。



無会派
遠藤 智子

学校の熱中症対策

質問 体温調節機能が未発達な子どもを預かる学校の現場で熱中症対策は重要であり、次の点を伺う。
①小中学校の教室へのエアコン設置計画。
②熱中症予防対策はこまめな水分補給が重要である。中学生は部活動が盛んなため運動の合間や練習後の水分摂取も大切であるが、体育館や武道場には空調設備がないところがほとんどのため、大型冷風機や冷水が摂取できるウォータークーラーを導入している学校もある。当市の小中学校への導入について見解を伺う。

答弁 ①全小中学校へのエアコン設置は、今般の猛暑、将来的な気候変動を踏まえ、2～3年での設置を考えている。
②冷風機の設置はないが大型の送風機を中学校2校で使用しており、設置のない学校に導入を検討する。ウォータークーラーは中学校3校に設置している。また適切な水分補給のため、水筒の持参を小中学校で実施しており、全学校でエアコンが設置されている特別教室を授業で活用したり、休憩時間に開放したりするなど、体調管理に配慮している。

城ノ内公園の改修整備

質問 公園内は2年前の質問時に比べ樹木の伐採等で風通しも良くなり環境整備の進捗が見られるが、児童遊園のトイレの撤去、交通公園の改良を急ぐべきか伺う。
答弁 ①過去に、阿賀野市でも昭和42年の羽越水害で15人の犠牲者が出た。今年も7月の西日本豪雨水害で200人超の死者をみた甚大な災害だった。現在当市では、五頭山水系の各河川で湛水防除事業や排水事業・改修、砂防事業・流路工など、ハード対策が県で進められ、当時と比較して安全度は向上している。

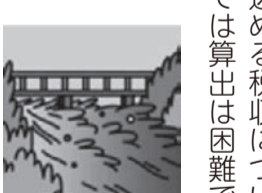


阿賀野クラブ
中島 正昭

異常気象の豪雨災害と治山・治水

質問 ①異常気象で、頻繁に各地でゲリラ豪雨の土砂災害・浸水災害が発生している。復興復旧に時間と予算もかさみ、国民生活への心配も尽きない。五頭山系の治山・治水の認識と取り組みを伺う。
②貝喰周辺で里山そっくり丸坊主にして進められている民間業者による太陽光パネル設置開発工事について、申請、認可、治水等の交渉は、県および市側と、また、地元住民への説明会はいかがか伺う。
③環境破壊の懸念はあるが、地域振興の観点では歓迎、応援も

答弁 ①過去に、阿賀野市でも昭和42年の羽越水害で15人の犠牲者が出た。今年も7月の西日本豪雨水害で200人超の死者をみた甚大な災害だった。現在当市では、五頭山水系の各河川で湛水防除事業や排水事業・改修、砂防事業・流路工など、ハード対策が県で進められ、当時と比較して安全度は向上している。
②県から大規模開発行為が承認され、林地開発も許可された。地元説明会でも同意を得た。
③開発で見込める税収については、現時点では算出は困難である。



と、公園全体の整備計画の進捗状況を伺う。
答弁 児童遊園のトイレの改良については、安田体育館や安田公民館を含め一体的に整備を進めることが有効と考えたが、その後の検討において野球場利用者等の利便性も考慮し、単独の設置も含め再検討している。できるだけ早く方針をまとめ整備したい。児童遊園内のトイレの撤去についても早めの実施したい。



水原駅周辺街路整備計画について

質問 今年度から県の予算付けが始まったと聞く。やと一歩から動き始めた思いだが、交通安全・地域振興・活性化には、市の玄関口の整備は不可欠。県にも両側開発より、片側で進める方向で提案したらどうか。一歩の動きはどのようなか伺う。
答弁 調査費の一部が配分され、現況把握の図面が完成したと聞く。この計画は、まちづくりの重要な課題と認識している。引き続き早期事業化に向け取り組みを進めたい。





日本共産党
稲毛 明

福祉行政について

質問 障害者差別解消法が平成28年4月1日よりスタートした。当市でも、この法律に基づいていろいろな施策が取り組まれていると思う。そこで何う。どういった施策が前進、改善されてきているのか。

答弁 手話奉仕員等の派遣による障がい者の社会参加や、手話言語条例の制定による手話の普及とろう者等への理解の促進を目指した施策。視覚障がい者への支援においては、市広報紙等の音声訳CDによる情報提供などの社会参加を促進する施策などである。

質問 聞くところによると、福



新政クラブ
近山 修

小中学校の冷房設備設置について

質問 全国的に高温が続く状況である。地球温暖化が進み、異常気象が続くと言われている。子どもたちが暑い教室で勉強していると集中力がなくなり、授業に集中できなくて能力の向上につながらないことや熱中症になる可能性がある。2年前の定例会で同じ質問をしたが、答弁は、市の財政では実施は困難であるとのことだった。現在国も、冷房設備設置に向けて助成金の増額を検討している。市も冷房設備の設置に前向きに検討できないか何う。

答弁 小中学校の夏季における

社会館を始めとする施設の障がい者トイレが、常時鍵がかかっているという声がある。

答弁 ご指摘のとおり、福祉会館の障がい者トイレは常時施錠していたが、現在は開放している。水原体育館は水漏れの施設不具合などがあり施錠していたが、現在は開放している。

質問 点字についても機械点字を行っている。

答弁 他市では、ボランティアによる機械点字を行っているところがあり、当市でも機械点字が再開できるよう検討している。

質問 はぐるの里のデイサービスが8月31日をもって休止されたが、利用者はどうなっているのか。

答弁 54名の利用者がいたが、他の施設の協力で9月1日よりデイサービスを利用している。

農業振興について

質問 担い手支援について、就農時45歳以上65歳未満の新規認定農家への給付、年75万円2年以内。兼業農家の定住・就農開始後の助成、月12万円1年以内など、小・中規模農家の支援等担い手づくりを進める上で、どのような施策を考えているか。

答弁 家族農業の担い手確保・育成は一定の効果があるものと考えている。



か所で実施している。

質問 交互散水は昨冬の大雪では消雪効果がなく、多くの残雪で交通に支障が出た。交互散水をするならば、状況により機械除雪も必要なのではないか。

答弁 状況を見ながら機械除雪を行っている。



日本共産党
倉島 良司

交通事故を減らす工夫を

質問 私の集落にある信号は一灯式の点滅信号で、たびたび交通事故が発生し、集落の住民は事故を大変恐れている。消防本部の記録では、この1年半に5回ほど激突があり、救急車の出動が相次いだ。幸い死亡事故には至っていないが、私たち住民はそれを一番恐れている。安心して通行できる、不安のない道路とするには、どのようにすればよいか、市長の考えを尋ねる。

答弁 質問の駒林地内の一灯式信号が設置されている交差点は、事故が多発している状況にある。阿賀野警察署では一時停止が必



要な道路を通行する車両が、交差点があること、あるいは一時停止しなければならぬことに気づかずに入ってしまう。加えて優先道路を通行する車両が入り込んで通ってしまう。スピードを出して通過しようとするのが主な原因であるとしている。

市では阿賀野警察署と共に現地調査等を行い、交差点の視認性を高めるとともに、速度抑制を促すために道路カラー表示や路面表示などの整備を10月23日までの工期で進めている。

質問 国連は2019年から2028年を家族農業の10年として、各国に家族農業の重要な役割を認識し支援することを呼び掛けた。従来、国連を含め家族農業の重要性を事実上否定してきたが、21世紀に入り「家族農業重視」に大転換したものの。市長はこの世界の動きをどう受け止めているか。

答弁 小規模、家族農業支援が生活や貧困の改善につながると考えられ、国際的流れが拡大している。世界的な家族農業再評価は、農村社会の発展につながる可能性があり、素直にうれしく思っている。



公明党
村上 清彦

子育て支援について

質問 本年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」に、来年10月から幼児教育無償化の全面実施を目指すことが明記された。この政策により、当市における財政面、保育施設の利用動向やこれからの子育て支援施策にどのような影響が考えられるのか。

答弁 当市財政面への影響については、現在不明であり、今後の国の動向等を注視し、適切に対応していく。幼児教育無償化により、長時間保育の利用ニーズが高まることと考えられ、保育士の需要も高まるの見込まれることから、施設によっては、

保育士不足により入園、入所希望に添えない等の影響が懸念されている。



図書館の取り組みについて

質問 コーヒーショップ、CD・DVDレンタル店を併設した図書館が話題になったことを発端に、各地で図書館の利用を促進させるためさまざまな取

組みが行われている。当市の図書館について、近年の利用状況、課題を伺うとともに、今後新たな価値を生み出すような取り組みについてどのように考えているのか。

答弁 入館者数は、平成27年度4万3360人、平成28年度4万3396人、平成29年度4万2647人となっている。平成29年度の減少が課題となっているが、利用の拡大に向け開館日の拡大と開館時間および貸出期間の延長、ギャラリースペースの活用などの取り組みをしている。

新たな価値を生み出すような取り組みについては、児童の読書推進を図るため関係機関と連携した事業の実施。また、健康塾など図書館を会場として実施される事業が増えており、その際、来館者にテーマに沿った資料を紹介・展示している。

一般質問



ネオあがの
天野美三男

温泉を生かした健康づくりと観光振興

質問 平成25年に「健康と温泉フォーラム」が阿賀野市で開催された。全国有数のラジウム・ラドン温泉をもつ5地域の温泉資源の活用、地域活性化や広域連携によるネットワーキング、観光から健康づくり、介護福祉事業まで、新たな温泉の可能性をテーマにしたフォーラムであった。

回答 フォーラムは本年で2回目の当市開催となる。平成28年5月に環境省から国民保養温泉地の指定を受けたことは、知名



無会派
山賀 清一

防災問題について

質問 日本中で防災減災意識が非常に高まっている。非常時にしっかりと備え、住民の安全安心を守ることは自治体の重要な使命である。過去の災害を見ても分かる通り、初動の情報伝達が重要だが、防災行政無線が地域によって聞き取りにくい不感地帯も多くあり、現在の制度設計にワット数出力の問題がある。実際に緊急避難の事態の時に大きな不安を感じるころ。この点の工夫改善はどの程度なのか。正確な情報伝達が不可能である。総務省が防災行政無線の移行規格にそって一つの手法、システムとして、280メガヘルツを

度の向上やブランド化を図る上で有効な手段の一つになると考えている。具体の取り組みは平成28年9月に三浦豪太氏を招き開催した「五頭リンピック」、また、昨年10月には、歩きながら名所を巡るとともに、地元グルメと温泉を楽しむイベントを開催し、市内外から800人の参加があり五頭温泉郷の魅力を発信した。



市民交流農園ハウスの新規就農者支援ハウス

質問 パイロット事業として次世代型の大型施設園芸ハウスを

整備したが、現在の状況や取り組みを伺う。

回答 平成29年度の市民交流農園ハウス施設見学者は、20団体277名、園児や児童生徒による収穫・体験学習者は13団体480名だった。30年度は8月末現在、施設見学者は6団体274名、体験学習者は3団体28名である。施設園芸の拡大では、昨年1名の農業者がトマト栽培管理のため施設見学に訪れ、今年パイプハウスを整備しトマト栽培に取り組んでいる。

暑さ対策について

質問 この夏の猛暑対策として消雪パイプによる打ち水を実施した地域があった。当市においても実施してはとの声が聞かれたが、検討はどうか伺う。

回答 効果・課題を整理し、検討する。

環境問題について

質問 美観・景観には、市内全域を見てとれるように安全地帯よりも危険区域がほうぼうに散在している。行政としてパトロールをこまめに、巡回確認を徹底して維持管理をやるべきだが、実際にどの程度、どうなっているか不透明である。道路の損傷はひどい。これでは車、自転車歩行者は危険。安心できる道路整備に力点を置くべき。この点どのような認識なのか。

回答 寒波や老朽化による、舗装の損傷が多く発生。市道全1654路線の舗装点検を実施するとともに緊急を要する箇所は、補正予算において舗装修繕や応急的補修を行っている。今後も損傷程度、通行状況等を勘案し修繕する。



阿賀野クラブ
浅間 信一

過去の災害発生状況について

質問 旧2町2村の過去の災害発生状況を伺う。

回答 昭和39年の新潟地震では死者は0人だったが、京ヶ瀬地区北部で被害が大きかった。昭和42年の羽越水害では、死者15人、家屋の全・半壊、浸水で、安田町、笹神村で被害が集中。平成7年4月新潟県北部地震が発生、負傷者50人、家屋の全・半壊199棟で、主に笹神村で被害が集中。平成10年8月の水害では、家屋の浸水1058棟、主に笹神村、水原町に被害が集中。平成23年7月の新潟・福島豪雨では、家屋の浸水79棟、主



無会派
横井 基至

自らの命は自ら守るのが基本

質問 避難についての基本的な考え方を伺う。

回答 災害は時間や曜日を問わず発生するので、自ら危険だと判断したら市役所からの避難情報待たずに、安全な場所に避難していただく、自助が避難の基本になるものと考えている。

質問 自主防災組織の現状と、地域ごとの防災意識を高める方策は。

回答 自主防災組織は、現在236の自治会で組織されており、41自治会がまだである。自治会内で防災意識の高揚を図るために、市が行う防災塾などを積極

に安田、水原地区に被害が集中。今後、いっどこで発生してもおかしくない状況であると認識している。一度災害が発生すれば、市民の生命財産が失われる危険があると同時に、市民生活に大きなダメージを与え、その復興に膨大な費用が必要になる。自治会での自主防災組織の育成、防災塾等を推進し、万一の際、一人の犠牲も出さないよう防災・減災対策に取り組む。



自治会の要望状況について

質問 自治会からの要望状況を伺う。

的に活用していただきたい。



昨年の地域防災訓練

2020年度開始小学校プログラミング教育

質問 当市はどのように教育を行うのか。

回答 プログラミング教育は、独立した教科ではなく、算数や理科といった教科の中で、児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を学習し、子どもたちが時代を生きていく力として、考え方の基礎や人間性を身につけてもらいたい。

質問 教育必修化に向けて、今後の取り組みを伺う。

回答 平成29年度は177件の要望があり、対応済みと対応予定で104件、検討中5件、他機関へ要望中28件、対応不可40件だが、市民の皆さまから生の声をお聴きできる貴重なものと考えている。すべての要望にこたえることはできないもの、できる限り市政に反映させたい。

移住相談の現状について

質問 本県は平成29年度全国2位の相談件数があるが、当市の状況は。

回答 当市の移住相談窓口での件数は19件で、うち移住イベントでの相談件数が18件。今のところ相談はないが、平成28、29年度で移住者は31人であった。**意見** 減災と小さな声を大切に「安全安心・住みよい」まちづくりに努めてほしい。

回答 次年度に各小学校へのタブレットパソコンの導入や校内ネットワーク環境整備を行う。

質問 うらの森トマトハウスはコンピュータ管理のハイテクハウスだが、教育に活用できないか。

回答 プログラミング教育にとっても良い施設なので、相談させてもらう。

阿賀野市「道の駅」の進捗状況

質問 6月議会に引き続き「道の駅」の進捗状況について伺う。

回答 施設の規模や内容、全体配置などの作業を進めている段階である。将来にわたり地域の活性化に資する施設とするため、これらの作業と並行して「米沢道の駅」等、評価の高い施設を調査し、計画に取り入れることができないか検討している。

議会報告会を開催しました

各自治会では6月定例会の報告の後、人口減少をテーマに意見交換を行ったほか、JA北蒲みなみ青年部、阿賀野市保育会の皆さまと意見交換会を行いました。

質疑、意見の一部を紹介し
ます。なお、掲載内容は要
約してありますのでご了承ください。
詳しい内容は、市ホーム
ページ「市議会のページ」
に掲載しています。

観 駒林特別支援学校に在籍中
だが、卒業後が心配である。
将来的に入所できる施設を
考えてもらいたい。

問 うららの森農園ハウスは販
売農園なのか、観光農園な
のか。

答 ICTを活用した営農・複
合的農業のためのモデル、
研修施設。

問 農家数が減少している中、
大規模農家、小規模農家と
多様な担い手があっても良
いのでは。小規模農家にも
応援する施策を考えてもら
いたい。

答 小規模農家が多い。60歳以
上の農家も多く30歳以下は
まだ少ないが、将来的には
離農した農家からの農地を
引き受け経営できる農業が
必要である。

問 今後の圃場整備は、園芸品
目2割以上の導入を目指す
ことが県から示されている。
農業者の高齢化が進んでい
る中で、圃場整備が遅れて
くるような方法で作

観 水原中学校市民図書室の平
日の利用者は誰もいない。
趣味などができるような利
用方法はできないものか。
図書館にコピー機がないの
はおかしい。設置してほしい。

問 市営バスの有効活用につい
て、サムズウオロク周辺に
医院が集中している。利用
しやすいように七石を通る
路線でも回ってほしい。

答 関係自治会長連名で申し入
れをするという手法もある。

問 市の予算について数字を見
ても適正かどうかかわらな
い。どのように大変なのか。
財政基盤が弱いため、自転
車操業のようなやりくりで
ある。



問 物を作っていくのか。若い
担い手が不安となるのでは
園芸品目導入について、緩
和策などさまざまな方法や
手段を検討し県に申し入れ
ていくのも方策かと思う。
圃場整備は次の世代を考え
ながら、今から声を出して
スタートしなければならな
い。

観 京ヶ瀬地区の保育関連施設
の受け入れ問題が発生して
いるが、保育会として対策
を講じるためにも必要な情
報提供をお願いしたい。将
来を見据えた保育・教育、
子育て支援施策、計画的な
施設整備など「子ども・
子育て会議」等で議論して
いくべき。

いただいたご意見を参考に、
政策立案等に役立てていき
たいと考えています。これ
からも多くの市民の皆さま
からご参加いただきますよ
うお願いいたします。

次回12月定例会の予定

議会を傍聴しませんか

月 日	会 議 名
11月22日(木)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
12月 4日(火)	本会議 (議案上程、一般質問)
12月 5日(水)	本会議 (一般質問)
12月 6日(木)	本会議 (一般質問)
12月10日(月)	総務文教常任委員会
12月11日(火)	社会厚生常任委員会
12月12日(水)	産業建設常任委員会
12月14日(金)	本会議 (委員長報告、採決)

11月22日の議会運営委員会で正式に決定します。
その後、市ホームページでお知らせします。

市立小中学校への エアコン設置に関する 要望書を提出

9月19日、全議員賛同のもと、早期
に設置を求める要望書を市長へ提出
しました。



議員研修会に参加 他市の議会の取り組みを学ぶ



会場のアオーレ長岡

8月28日県市議会議長会主催の研修会が長岡市で
開催され、正副議長と議員8名が参加しました。研修
では長岡市の「日本酒で乾杯を推進する条例制定」、
上越市の「議会改革の歩み」の取り組み事例発表と
「地方議会が地方を変える、地方から日本を変える」
と題して、早稲田大学名誉教授北川正恭氏の講演が
ありました。

編集後記



今年は大雪に始まり、豪雨、猛暑、台風
と地震の自然災害により多くの尊い生命が
奪われました。幸い当市は大事にいたらず
ありがたく思っております。

近年の異常気象の原因の一つに地球温暖
化が指摘されていますが、9月定例会では
学校教室の熱中症対策に、エアコン設置を
急ぐべきと4名の議員が一般質問し、さら
に議会から市長に小中学校へのエアコン早
期設置の要望書を提出しました。地球温暖
化防止の推進にがんばりましょう。

広報部会員 遠藤智子

議会改革推進特別委員会
部長 山賀清一
副部長 横井基至

倉高遠 島橋藤 良幸智 司信子

次号は
平成31年1月15日発行の予定です。

議会の情報は市ホームページをご覧ください

<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>



スマートフォン、タブレット
端末でもご覧になれます

発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会 広報部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：61-2489
FAX：61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp